

2018年(平成30年)2月9日(金曜日)

# 三島駅南口再開発を推進

## 市長「未来開拓型の予算」

### 三島市



2018年度当初予算案について説明する豊岡武士・三島市長＝市役所で

三島市は八日、JR三島駅南口再開発事業の推進を盛った二〇一八年度当初予算案を発表した。関連事業費に一億三千四百二十万円を計上した。再開発事業では、東街区の都市計画決定に向け、地下水保全に配慮しながら事業協力者と事業化を検討す

<b>&lt;一般会計&gt;</b>	
<b>346億円</b> (前年度当初比0.4%減)	
<b>&lt;主な事業&gt;</b>	
▽JR三島駅南口再開発	1億3428万円
▽子ども医療費支給事業	5億3917万円
▽五輪・パラリンピック関連事業	6874万円
▽市民文化会館施設整備事業	1億7311万円
▽移住・定住対策	1億517万円

る。西街区に東急がホテルを建設するのに伴い、自転車など計八百六十台を収容する駐輪場を整備し、十月に供用を始める。

現在中学三年までの通院・入院医療費の自己負担額について、十月から高校生まで拡充する。二〇年の東京五輪・パラリンピック関連では、外国人観光客らをもてなすため、楽寿園に多言語表示の案内看板を設置するほか、英検三級以上の

東街区の事業協力者「複数業者から応募」

市政報告会で市長

三島市の豊岡武士市長は七日夜に市内のホテルで開いた市政報告会で、JR三島駅南口東街区の再開発の事業協力者の公募について「複数業者から応募があった」と明らかにした。東街区の公募は市有地と民有地の計一・二畝にマンションや駐車場、診療所

取得に挑戦する中学三年生に検定料を全額補助して英語力強化を図る。

児童福祉施設の整備費補助金や道路建設事業費などが減ったため、一般会計の総額は前年度比0.4%減の三百四十六億円。豊岡武士市長は「新たなステージへ大きく飛躍するための未来開拓型の予算」と語った。予算案は二十日開会の市議会に提案する。

(佐久間博康)

などを入居させる条件で、昨年十一月から今月五日まで自由な発想のフリープランを募っていた。事業協力者は学識経験者らによる審査を経て四月に決定する。

豊岡市長は「(東急がホテルを建設する)西街区と東街区の両方が完成すると、より一層三島の魅力と活力が増し、持続的な発展につながる」と期待した。

(佐久間博康)